

特集

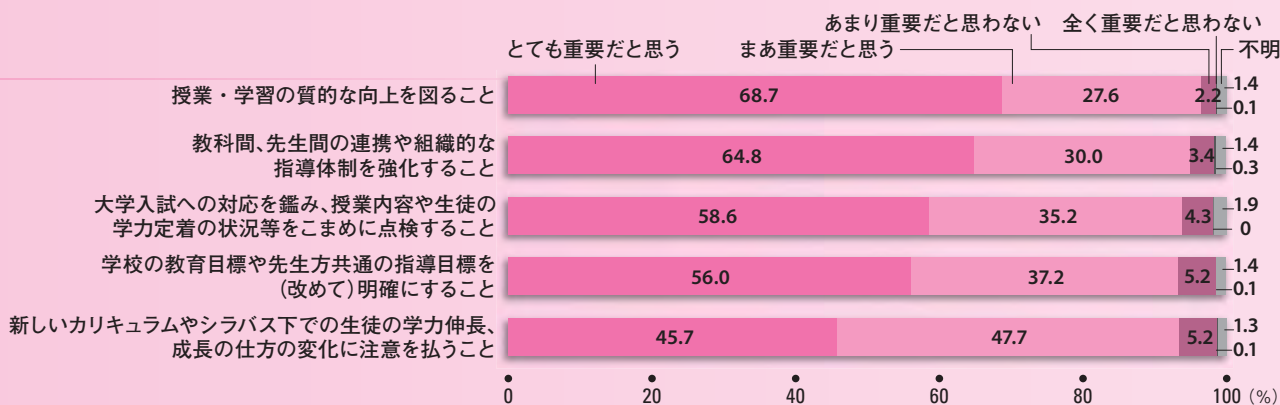
新課程先行実施

2012年度

入学生の
指導に迫る

中学校での新課程先行実施を受け、増加した学習内容は2012年度入学生にどの程度定着しているのか。入学生の変化を予測し、1年次における進路指導、教科指導のポイントを改めて整理する。

新課程への移行に際し、重要となる観点と、それぞれの「重要度」について



*「とても重要だと思う」の割合が多い上位5項目を抜粋

出典/ベネッセコーポレーション高校事業部「新課程レポート vol.1 コミュニケーションシート」(調査時期: 2011年7月) n=696校

教師間の連携を強化し、大学入試に向けて**指導の質的向上を図ることが**、新課程でも重要となる

1 予想される2012年度入学生の実態

【P.6 課題整理、P.8 座談会、ベネッセコーポレーション高校事業部「新教育課程に関するアンケート」結果より】

学力面

◎校内での生徒間の学力差がこれまで以上に広がる

◎出身中学により学習歴の違いや学力差が広がる

気質面

◎「ほどほど志向」は継続する

2 2012年度入学生の指導のポイント

学校全体での取り組み

【P.8 座談会】

中学校との連携などで、
生徒一人ひとりのきめ細かな把握を行う

◎基礎学力習得サイクルの徹底

「活用」や「探究」に向けて、夏までに徹底的に基礎学力の定着を図る



茨城県立
竜ヶ崎第一高校
渡辺隆文先生

◎学習の質を高める工夫

増加した内容に量を増やして対応するのではなく、
限られた時間の中で量と質のバランスを取るよう工夫する



愛知県立
五条高校
河村泰親先生

◎文理選択の意義を再考

「進路実現のための文理選択」という視点で、文理選択の意味や
時期を捉え直す



熊本県立
鹿本高校
白石宏一先生

◎「みんなで1人を育てる」視点を持つ

担任1人に抱え込まず、
学校、保護者、地域と連携して生徒を育てる意識を持つ

教科ごとの取り組み

【P.12 1年生の指導ポイント】

中学校の学習内容で定着している分野、していない分野を
見極めて指導を行う

数学 数学Iと数学Aとの関連や、2年生での学習内容とのつながりを踏まえる

理科 科目の組み合わせと文理選択への影響に注意して指導を行う

英語 2013年度の準備として、試行錯誤をしながら授業を模索する一年にする